60 分でわかる旧約聖書 (19) 「詩篇」

1. はじめに

- (1) 孤島にひとりで住む場合、一冊の本を選ぶとしたらどれにするか。
 - ①クリスチャンなら聖書と答えるだろう。
 - ②では、聖書の中のどの書を選ぶかと聞かれたら、なんと答えるか。
 - ③詩篇を選ぶ可能性は非常に高い。
 - ④詩篇を味わうのは非常に難しい。論理的な流れがなく、感情的な表現が多い。
- (2) 詩篇について知っておくべきこと
 - ①タイトル:ヘブル語で「tehillim」(賛美)である。*種々の内容の詩が含まれているが、基本は「賛美」である。
 - ②詩篇は、読むものではなく、歌うものである。
 *楽器(笛、琴、竪琴、シンバルなど)に合わせて歌うための歌詞である。*神殿で歌った旧約時代の讃美歌である。
 - ③詩篇は、詩である。
 - *韻を踏むのではなく、対句法を多用している。
 - *誇張法がたびたび登場する。
 - *論理的な関連性よりは、感情的な表現が重視されている。
 - ④叙情詩は、事実の真実性を減じるものではない。
- (3) 著者
 - ①ダビデ:73 篇
 - ②アサフ:12篇
 - ③コラの子たち:10篇
 - ④ソロモン:2篇
 - ⑤モーセ、エズラフ人エタン、エズラフ人へマン、:1篇
 - ⑥それ以外は無名:50篇
 - *2 篇と 95 篇はダビデの作(使 4:25、ヘブ 4:7)
- 2. メッセージのアウトライン
 - (1) 詩篇自身が示す区分
 - (2) 内容に基づく区分
 - (3) モーセの五書との対比に基づく区分
- 3. 結論:

- (1) 詩篇の解釈と適用
- (2) 神の裁きを求める詩篇
- (3) 詩篇の中に啓示されたキリスト

詩篇の中に啓示されているキリストを発見する。

I. 詩篇自身が示す区分

はじめに: 頌栄が区切りのしるしになっている。

1. 1~41 篇

Psa 41:13 ほむべきかな。イスラエルの神、【主】。/とこしえから、とこしえまで。/ アーメン。アーメン。

2. 42~72 篇

Psa 72:19 とこしえに、ほむべきかな。その栄光の御名。/その栄光は地に満ちわたれ。/アーメン。アーメン。

3. 73~89 篇

Psa 89:53 主をたたえよ、とこしえに。アーメン、アーメン。

4. 90~106 篇

Psa 106:48 イスラエルの神、主をたたえよ/世々とこしえに。民は皆、アーメンと答えよ。 ハレルヤ。

5. 107~150 篇

Psa 150:1 ハレルヤ。聖所で神を賛美せよ。大空の砦で神を賛美せよ。

Psa 150:2 力強い御業のゆえに神を賛美せよ。大きな御力のゆえに神を賛美せよ。

Psa 150:3 角笛を吹いて神を賛美せよ。琴と竪琴を奏でて神を賛美せよ。

Psa 150:4 太鼓に合わせて踊りながら神を賛美せよ。弦をかき鳴らし笛を吹いて神を賛美せよ。

Psa 150:5 シンバルを鳴らし神を賛美せよ。シンバルを響かせて神を賛美せよ。

Psa 150:6 息あるものはこぞって主を賛美せよ。ハレルヤ。

(1) 150 篇 (最後の詩) は、詩篇全体への頌栄になっている。

Ⅱ. 内容に基づく区分

- 1. 歴史的詩篇
 - (1) イスラエルの歴史上の出来事と関係した歌。

- (2) あるいは、作者の人生で起きた出来事と関係した歌。
- 2. メシア的詩篇
 - (1) キリストの受難とそれに続く栄光を歌った歌
 - (2) メシア的詩篇は16篇あるが、広く言えば、詩篇全体がメシア的である。
- 3. 預言的詩篇(千年王国の預言も含む)
 - (1) 将来のイスラエルの苦難を歌った歌
 - (2) 苦難に続く平和と繁栄の時代を歌った歌
- 4. 悔い改めの詩篇
 - (1) 作者の深い悔い改めを歌った歌
 - (2) 心砕かれた者が罪の赦しを求めて叫んでいる歌
- 5. 神の裁きを求める詩篇
 - (1) 神の民の敵に対する復讐を神に願う歌

Ⅲ. モーセの五書との対比に基づく区分

- 1. 創世記に対応:1~41篇(人間に焦点を合わせている)
 - (1) 人間が、祝福、堕落、回復という流れの中で描かれる。
 - (2) 神の計画の中で、キリストが神の民イスラエルのための祝福の源となる。
- 2. 出エジプト記に対応: 42~72 篇 (イスラエルに焦点を合わせている)
 - (1) イスラエルの滅亡 42~49 篇
 - (2) イスラエルの贖い主 50~60 篇
 - (3) イスラエルの贖い 61~72 篇
- 3. レビ記に対応: 73~89 篇 (神殿に焦点を合わせている)
 - (1) 幕屋、神殿、【主】の家、会衆などが、ほぼすべての詩篇に出てくる。
- 4. 民数記に対応: 90~106 篇(地上のことに焦点を合わせている)
 - (1) 苦難と守り
- 5. 申命記:107~150 篇(みことばに焦点を合わせている)
 - (1) 完成とみことばの賛美

結論:

- 1. 詩篇の解釈と適用
 - (1) 詩篇の作者の経験
 - ①イスラエルの民全体の経験と相関関係にある。
 - ②イエス・キリストの経験とも相関関係にある。
 - (2) 詩篇は新約時代の信者に向けて書かれたものではないが、多くの教訓を含む。
 - ①慰め、叱責、励まし、教えなどを含む。
 - ②旧約時代の神殿は新約時代のキリストのからだの予表である。 *普遍的教会は、すべての信者からなり、聖霊の内住がある。
 - ③詩篇が取り上げている戦いは、私たちが戦う霊的戦いの予表である。
 - ④地上でイスラエルが受ける物質的祝福は、私たちが天上で受ける霊的祝福の予表である。

2. 神の裁きを求める詩篇

(1) 詩35

Psa 35:24 あなたの義にしたがって、私を弁護してください。/わが神、【主】よ。/彼らを私のことで喜ばせないでください。

Psa 35:25 彼らに心のうちで言わせないでください。/「あはは。われわれの望みどおりだ」と。/また、言わせないでください。/「われわれは彼を、のみこんだ」と。

Psa 35:26 私のわざわいを楽しんでいる者らは、/みな恥を見、はずかしめを受けますように。/私に向かって高ぶる者は、/恥と侮辱をこうむりますように。

- ①この種の詩篇は、戦争の時代に詠まれたものである。
- ②個人的な復讐を求めているのではなく、神の民の共同体の祈りである。
- ③神の民は、地上に神の義と平和が成就しますようにと祈っている。
- ④新約時代の信者に与えられている命令は、敵を愛することである。
- ⑤ディスペンセーションは、律法の時代から恵みの時代へと移行した。
- 3. 詩篇の中に啓示されたキリスト

はじめに: 詩篇はキリストについて証言している。

Luk 24:44 イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」

(1) 22 篇 - 十字架にかけられたキリスト

Psa 22:1 わが神、わが神。/どうして、私をお見捨てになったのですか。/遠く離れて私をお救いにならないのですか。/私のうめきのことばにも。

(2) 23 篇 - よき羊飼いキリスト

Psa 23:1 【主】は私の羊飼い。/私は、乏しいことがありません。

(3) 40 篇 - いけにえとなったキリスト

Psa 40:6 あなたは、いけにえや穀物のささげ物を/お喜びにはなりませんでした。/あなたは私の耳を開いてくださいました。/あなたは、/全焼のいけにえも、罪のためのいけにえも、/お求めになりませんでした。

Psa 40:7 そのとき私は申しました。/「今、私はここに来ております。/巻き物の書に私のことが書いてあります。

Psa 40:8 わが神。私はみこころを行うことを喜びとします。/ あなたのおしえは私の心のうちにあります。 |

Heb 10:5 ですから、キリストは、この世界に来て、こう言われるのです。/「あなたは、いけにえやささげ物を望まないで、/わたしのために、からだを造ってくださいました。
Heb 10:6 あなたは全焼のいけにえと/罪のためのいけにえとで/満足されませんでした。
Heb 10:7 そこでわたしは言いました。/『さあ、わたしは来ました。/聖書のある巻に、/わたしについてしるされているとおり、/神よ、あなたのみこころを行うために。』」

(4) 詩 110 篇 - 大祭司キリスト

Psa 110:1 【主】は、私の主に仰せられる。/「わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは、/わたしの右の座に着いていよ。」

Psa 110:4 【主】は誓い、そしてみこころを変えない。/「あなたは、メルキゼデクの例にならい、/とこしえに祭司である。」

Heb 7:17 この方については、こうあかしされています。/「あなたは、とこしえに、/メルキゼデクの位に等しい祭司である。」

Heb 7:18 一方で、前の戒めは、弱く無益なために、廃止されましたが、

Heb 7:19 ——律法は何事も全うしなかったのです——他方で、さらにすぐれた希望が導き入れられました。私たちはこれによって神に近づくのです。

Heb 7:20 また、そのためには、はっきりと誓いがなされています。

Heb 7:21 ――彼らの場合は、誓いなしに祭司となるのですが、主の場合には、主に対して次のように言われた方の誓いがあります。/「主は誓ってこう言われ、/みこころを変えられることはない。/『あなたはとこしえに祭司である。』」――

Heb 7:22 そのようにして、イエスは、さらにすぐれた契約の保証となられたのです。

(5) 詩 118 篇 - 岩なるキリスト

Psa 118:22 家を建てる者たちの捨てた石。/それが礎の石になった。

Psa 118:23 これは【主】のなさったことだ。/私たちの目には不思議なことである。

Mat 21:42 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、次の聖書のことばを読んだことがないのですか。/『家を建てる者たちの見捨てた石。/それが礎の石になった。/これは主のなさったことだ。/私たちの目には、/不思議なことである。』

(6) 詩 2 篇 - やがて来られる王

Psa 2:1 なぜ国々は騒ぎ立ち、/国民はむなしくつぶやくのか。

Psa 2:2 地の王たちは立ち構え、/治める者たちは相ともに集まり、/【主】と、主に油をそそがれた者とに逆らう。

Psa 2:3 「さあ、彼らのかせを打ち砕き、/彼らの綱を、解き捨てよう。」

Psa 2:4 天の御座に着いている方は笑い、/主はその者どもをあざけられる。

Psa 2:5 ここに主は、怒りをもって彼らに告げ、/燃える怒りで彼らを恐れおののかせる。

Psa 2:6 「しかし、わたしは、わたしの王を立てた。/わたしの聖なる山、シオンに。」

Act 4:25 あなたは、聖霊によって、あなたのしもべであり私たちの父であるダビデの口を通して、こう言われました。/『なぜ異邦人たちは騒ぎ立ち、/もろもろの民はむなしいことを計るのか。

Act 4:26 地の王たちは立ち上がり、/指導者たちは、主とキリストに反抗して、/一つに組んだ。』

Act 13:33 神は、イエスをよみがえらせ、それによって、私たち子孫にその約束を果たされました。詩篇の第二篇に、『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ』と書いてあるとおりです。